

13 チョビヒゲヌカゲモ

(サラゲモ科)

兵庫県ランク:要調査

Walckenaeria golovatchi

環境省ランク:-

種の概要

体長雌2.3～3.2mm、雄2.5～3.0mm。雄の頭には大きな瘤があり、瘤の前方の上向きの小突起から髭状の毛束が前方に伸びる。山地林床の落葉中などに生息し、春から秋まで成体が見られる。北海道、本州に分布しロシア沿海州、サハリンにも分布。

写真なし

県内における生息状況及びその他特記事項

兵庫県内では氷ノ山と扇ノ山にのみ記録がある。

保護上の留意点

兵庫県内では1000m級の山地に生息すると思われるが情報が不足している。寒地性の要素なので広葉樹林まるごとの保護が望まれる。

県内分布

養父市、新温泉町

【執筆者】本庄 四郎

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	○

